



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名 株式会社日本触媒 上場取引所 東
 コード番号 4114 URL <http://www.shokubai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 全徳
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 和田 輝久 TEL (06) 6223-9111
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満は四捨五入して表示)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	61,208	△22.8	2,124	△70.2	3,282	△61.8	3,042	△38.5
25年3月期第1四半期	79,320	△4.9	7,137	△25.5	8,601	△17.6	4,948	△28.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 8,677百万円 (18.3%) 25年3月期第1四半期 7,337百万円 (△9.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	14.99	—
25年3月期第1四半期	24.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	374,299	227,877	59.5	1,096.42
25年3月期	352,373	220,248	61.1	1,059.85

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 222,561百万円 25年3月期 215,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.00	—	5.00	16.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	135,000	△9.6	4,000	△59.4	5,000	△56.7	3,500	△46.7	17.24
通期	300,000	11.3	15,000	49.5	18,000	30.2	12,000	42.8	59.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	204,000,000株	25年3月期	204,000,000株
26年3月期1Q	1,011,639株	25年3月期	1,010,242株
26年3月期1Q	202,988,596株	25年3月期1Q	202,998,421株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	10
（セグメント情報等）	10
（参考情報）	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高修正を受け輸出環境の改善や生産・消費に持ち直しの動きがみられるものの、海外景気の下振れ懸念など、先行きが不透明ななかで推移しました。

化学工業界におきましては、中国経済の成長鈍化や国内市場の低迷など、予断を許さない状況が続きました。

平成24年9月29日、当社姫路製造所において爆発・火災事故が発生しました。このため、関係ご当局からの危険物製造所等一時使用停止命令により、姫路製造所および隣接する関係会社の全プラントが停止いたしました。同年11月1日以後、解除する旨の通知を数次にわたって頂いております。

それにより、同年11月に自動車触媒を含む触媒関連および塗料用樹脂、同年12月に電子情報材料および樹脂改質剤、平成25年1月に無水マレイン酸およびコンクリート混和剤用ポリマーの生産を順次再開しております。また、アクリル酸と高吸水性樹脂につきましても、同年6月に一部のプラントで生産を再開いたしました。

しかしながら、アクリル酸および高吸水性樹脂の一部のプラント、アクリル酸エステル、特殊エステルおよび洗剤原料用などの水溶性ポリマーは、平成25年6月末時点においても操業を停止しております。

①全体の状況

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	79,320	61,208	△18,111	△22.8%	269,520
営業利益	7,137	2,124	△5,014	△70.2%	10,034
経常利益	8,601	3,282	△5,319	△61.8%	13,824
四半期(当期)純利益	4,948	3,042	△1,906	△38.5%	8,401
1株当たり四半期(当期)純利益	24.37円	14.99円	△9.38円	△38.5%	41.38円
ROA(総資産経常利益率)	9.4%	3.6%	—	△5.8ポイント	3.9%
ROE(自己資本当期純利益率)	9.6%	5.6%	—	△4.0ポイント	4.0%
為替(\$、EUR)	\$=¥80.18 EUR=¥102.84	\$=¥98.78 EUR=¥128.95		¥18.60 ¥26.11	\$=¥83.09 EUR=¥107.06
ナフサ価格	60,500円/kl	65,500円/kl		5,000円/kl	57,500円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、上述の姫路製造所事故の影響などにより販売数量が大幅に減少し、前年同四半期連結累計期間(以下、前年同四半期)に比べて181億1千1百万円減収(△22.8%)の612億8百万円となりました。

利益面につきましても、姫路製造所事故の影響などにより、営業利益は前年同四半期に比べて50億1千4百万円減益(△70.2%)の21億2千4百万円となりました。

経常利益は、円安が進んだことにより為替差損益が改善したものの、技術料収入の減少や持分法投資損益の減少などにより営業外損益は3億5百万円の減益となり、前年同四半期に比べて53億1千9百万円減益(△61.8%)の32億8千2百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同四半期に比べて19億6百万円減益(△38.5%)の30億4千2百万円となりました。

②セグメント別の概況

[基礎化学品事業]

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、原料価格の上昇に伴い販売価格を修正したものの、姫路製造所事故による生産停止の影響により販売数量が大幅に減少したため、大幅な減収となりました。

酸化エチレンは、販売数量は減少したものの、原料価格の上昇に伴い販売価格を修正したことにより、増収となりました。

エチレングリコールおよび高級アルコールは、輸出を中心に販売数量が増加したことに加え、原料価格の上昇への対応や円安が進んだことにより販売価格も上昇したため、増収となりました。

エタノールアミンは、原料価格高に伴い販売価格を修正したものの、輸出を中心に販売数量が減少したことにより、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前年同四半期に比べて17.8%減少の275億9千万円となりました。

営業利益は、事故の影響により販売数量が大幅に減少したことに加え、原料価格の上昇に製品価格の上昇が追いついていないこと、および生産量の減少に対して商品購入によって対応したことによるスプレッド縮小などによって収益性が悪化した結果、前年同四半期に比べて33億2千9百万円減少の△3億1千5百万円となりました。

[機能性化学品事業]

高吸水性樹脂、洗剤原料用などの水溶性ポリマーおよび特殊エステルは、姫路製造所事故による生産停止の影響により販売数量が大幅に減少したため、大幅な減収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマー、樹脂改質剤、塗料用樹脂および粘着加工品は、販売数量が減少したため、減収となりました。

エチレンイミン誘導品は、販売価格を修正しましたが、販売数量が減少したため、減収となりました。

電子情報材料は、販売数量を伸ばしたことにより、増収となりました。

無水マレイン酸およびよう素化合物は、販売数量が減少したものの、価格修正などにより増収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前年同四半期に比べて35.0%減少の267億9百万円となりました。

営業利益は、加工費の低減などに努め、円安の影響や原料価格の上昇に伴う販売価格修正により価格は上昇したものの、販売数量が減少した影響が大きいうえ、原料価格も上昇した結果、前年同四半期に比べて67.3%減少の12億6千6百万円となりました。

[環境・触媒事業]

プロセス触媒、湿式酸化触媒、燃料電池材料、脱硝触媒、リチウム電池用ポリマーおよび自動車触媒は、販売数量が増加したことにより、増収となりました。

ダイオキシン類分解触媒は、販売数量が減少したため、減収となりました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前年同四半期に比べて49.0%増加の69億9百万円となりました。

営業利益は、在庫評価損が増加したものの、販売数量の増加などにより、前年同四半期に比べて401.8%増加の11億1千1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて219億2千6百万円増加の3,742億9千9百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べて163億5千7百万円増加しました。現金及び預金、受取手形及び売掛金、並びに たな卸資産の増加などによるものです。なお、平成24年9月29日に当社姫路製造所において発生しました爆発・火災事故により罹災した資産の修繕費等について、保険金が受領できる見込みであるため、当第1四半期連結累計期間において新たに5億4千3百万円を火災未決算として流動資産の「その他」に計上しました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて55億6千9百万円増加しました。設備投資による有形固定資産の増加や、時価の上昇による投資有価証券の増加などによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて142億9千7百万円増加の1,464億2千2百万円となりました。長期借入金、支払手形及び買掛金が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて76億2千9百万円増加の2,278億7千7百万円となりました。為替換算調整勘定、利益剰余金、およびその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものです。

自己資本比率は、前連結会計年度末の61.1%から59.5%へと1.6ポイント減少しました。なお、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末に比べて36.57円増加の1,096.42円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローの収入および借入れ等の財務活動によるキャッシュ・フローの収入が、設備投資等の投資活動によるキャッシュ・フローの支出を上回ったため、前連結会計年度末に比べて62億7千万円増加の540億7千万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の115億7千8百万円の収入に対し、当第1四半期連結累計期間は48億2千6百万円の収入となりました。法人税等の支払額は減少したものの、売上債権が増加したこと、及び税金等調整前四半期純利益が減少したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の83億7千5百万円の支出に対し、当第1四半期連結累計期間は57億3千5百万円の支出となりました。前第1四半期連結累計期間に比べて有形固定資産の取得による支出が減少したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期連結累計期間の59億3千5百万円の収入に対し、当第1四半期連結累計期間は62億9千2百万円の収入となりました。前第1四半期連結累計期間に比べて借入れによる収入が減少したものの、配当金の支払額が減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、姫路製造所の再稼働予定が当初の見込みと異なったため、基礎化学品は、外部からの購入品の販売を増やしたことによりスプレッドが縮小し、減益となる見込みであり、機能性化学品は、販売数量は減少いたしました。加工費の低減などにより増益となる見込みです。したがって、セグメント間での増減はあるものの、当第1四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、平成25年5月8日に発表いたしました予想数値を変更していません。

なお、セグメント別の当第2四半期連結累計期間の業績予想は以下の通りです。

・平成26年3月期 第2四半期連結累計期間 報告セグメント別業績予想 (単位：億円)

	基礎化学品事業		機能性化学品事業		環境・触媒事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
5月8日発表	570	10	650	25	130	5
今回予想	575	0	660	35	115	5
差異	5	△10	10	10	△15	0

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,847	56,788
受取手形及び売掛金	52,579	56,970
商品及び製品	21,468	24,640
仕掛品	7,170	7,524
原材料及び貯蔵品	13,571	13,863
その他	14,466	15,677
貸倒引当金	△49	△55
流動資産合計	159,051	175,408
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	52,031	51,096
土地	32,396	32,401
その他(純額)	58,300	63,327
減損損失累計額	△4,225	△4,394
有形固定資産合計	138,502	142,430
無形固定資産		
その他	2,227	2,230
無形固定資産合計	2,227	2,230
投資その他の資産		
投資有価証券	37,252	39,149
その他	15,452	15,183
貸倒引当金	△111	△101
投資その他の資産合計	52,593	54,231
固定資産合計	193,322	198,891
資産合計	352,373	374,299
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,415	42,850
短期借入金	14,533	14,695
1年内返済予定の長期借入金	14,080	13,732
未払法人税等	751	1,711
賞与引当金	2,597	4,016
その他の引当金	2,749	3,114
その他	10,084	9,585
流動負債合計	84,208	89,703
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	26,060	34,802
退職給付引当金	10,418	10,480
その他	1,439	1,438
固定負債合計	47,917	56,719
負債合計	132,125	146,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,038	25,038
資本剰余金	22,083	22,083
利益剰余金	172,376	174,403
自己株式	△897	△899
株主資本合計	218,599	220,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,846	4,172
繰延ヘッジ損益	1	4
為替換算調整勘定	△6,309	△2,239
その他の包括利益累計額合計	△3,462	1,937
少数株主持分	5,111	5,316
純資産合計	220,248	227,877
負債純資産合計	352,373	374,299

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	79,320	61,208
売上原価	62,387	51,104
売上総利益	16,933	10,105
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	3,170	2,038
人件費	2,117	1,915
研究開発費	2,829	2,525
その他	1,680	1,503
販売費及び一般管理費合計	9,796	7,981
営業利益	7,137	2,124
営業外収益		
受取利息	18	24
受取配当金	352	340
持分法による投資利益	415	302
受取技術料	898	26
不動産賃貸料	296	279
為替差益	—	496
その他	140	86
営業外収益合計	2,119	1,552
営業外費用		
支払利息	178	130
為替差損	272	—
減価償却費	60	93
その他	146	172
営業外費用合計	656	394
経常利益	8,601	3,282
特別利益		
受取保険金	—	3,851
特別利益合計	—	3,851
特別損失		
爆発火災事故に係る損失	—	2,822
関係会社出資金評価損	—	50
投資有価証券評価損	272	—
関係会社株式評価損	264	—
特別損失合計	536	2,872
税金等調整前四半期純利益	8,065	4,261
法人税、住民税及び事業税	3,513	1,493
法人税等調整額	△456	△317
法人税等合計	3,057	1,175
少数株主損益調整前四半期純利益	5,008	3,085
少数株主利益	60	43
四半期純利益	4,948	3,042

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,008	3,085
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,213	1,324
繰延ヘッジ損益	△1	3
為替換算調整勘定	2,844	3,671
持分法適用会社に対する持分相当額	700	594
その他の包括利益合計	2,329	5,591
四半期包括利益	7,337	8,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,162	8,440
少数株主に係る四半期包括利益	175	237

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,065	4,261
減価償却費	3,604	3,906
関係会社出資金評価損	—	50
投資有価証券評価損益(△は益)	272	—
関係会社株式評価損	264	—
受取保険金	—	△3,851
受取利息及び受取配当金	△370	△364
支払利息	178	130
持分法による投資損益(△は益)	△415	△302
売上債権の増減額(△は増加)	2,156	△3,741
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,702	△3,039
仕入債務の増減額(△は減少)	4,103	2,794
その他	1,578	550
小計	16,732	394
利息及び配当金の受取額	2,047	1,266
利息の支払額	△80	△56
保険金の受取額	—	3,851
法人税等の支払額	△7,121	△629
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,578	4,826
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,761	△5,449
貸付けによる支出	△1,233	—
その他	△381	△285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,375	△5,735
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	25	268
長期借入れによる収入	9,110	7,613
長期借入金の返済による支出	△911	△530
配当金の支払額	△2,233	△1,015
少数株主への配当金の支払額	△44	△31
自己株式の売却による収入	—	1
自己株式の取得による支出	△1	△3
その他	△12	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,935	6,292
現金及び現金同等物に係る換算差額	782	887
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,920	6,270
現金及び現金同等物の期首残高	50,812	47,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,732	54,070

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,569	41,115	4,636	79,320	—	79,320
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,271	427	225	10,923	△10,923	—
計	43,841	41,542	4,860	90,243	△10,923	79,320
セグメント利益	3,014	3,876	221	7,111	26	7,137

(注) 1 セグメント利益の調整額 26百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	基礎化学品	機能性化学品	環境・触媒	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,590	26,709	6,909	61,208	—	61,208
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,639	244	2	2,884	△2,884	—
計	30,229	26,953	6,911	64,093	△2,884	61,208
セグメント利益又は損失(△)	△315	1,266	1,111	2,062	62	2,124

(注) 1 セグメント利益の調整額 62百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(参考情報)

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	15,195	9,521	5,977	4,899	35,591
連結売上高(百万円)					79,320
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.2	12.0	7.5	6.2	44.9

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	13,484	6,848	6,575	607	27,513
連結売上高(百万円)					61,208
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	22.1	11.2	10.7	1.0	45.0

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 各区分に属する主な国又は地域
 (1) アジア ……………東アジア及び東南アジア諸国
 (2) 欧州 ……………ヨーロッパ諸国
 (3) 北米 ……………北アメリカ諸国
 (4) その他の地域 ……………アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。